

東京農工大学の概況

～研究成果の活用とイノベーション人材養成 に基づく国際競争力の強化～

資料5

科学技術・学術審議会 産業連携・地域支援部会
競争力強化に向けた大学的資産マネジメント検討委員会
(第2回)H27.5.27



平成27年5月27日



東京農工大学の使命と学長ビジョン

第2期中期目標:ビジョン「研究大学としての地位の確立」

(平成22～27年度)

ミッションの再定義

農学・工学ともに、国際社会で指導的な役割を担う高度な専門職業人材、高い研究能力を有する先導的な人材の育成及び、我が国の産業を支える実践的な研究等の取り組みの一層の推進によるイノベーション創出が再定義された。

農学 **イネ新品種開発、ゲノム情報解析**をはじめ農学分野において国際的に高い評価

工学 **エネルギー材料、スマートモビリティ、バイオセンシング**の研究論文の量又は質が世界的水準



平成26年:創基140年

第3期中期目標:ビジョン「世界が認知する研究大学へ」

(平成28～33年度)

大学改革・研究力強化方針 ～MORE TUAT 150～

世界に向けて日本を牽引する大学としての役割を果たす

学長ビジョン

- ◆世界と競える先端研究力の強化
- ◆国際社会との対話力を持った教育研究の推進
- ◆日本の産業界を国際社会に向けて牽引
- ◆高度なイノベーションリーダーの養成

東京農工大学での累計テニュアトラック(TT)教員採用実績 (TT教員とその経験者の人数と割合)

(年度末の数値)

年度	H18	H20	H23	H24	H25	H26
累計TT採用実績(転出除く)	22名	26名	36名	47名	64名	76名
補助金	22名	0名	0名	0名	0名	10名※
大学運営費 交付金	0名	4名	10名	11名	17名	2名
全教員に対する 割合	4.90%	5.70%	8.50%	<u>10.90%</u>	<u>15.80%</u>	<u>18.10%</u>

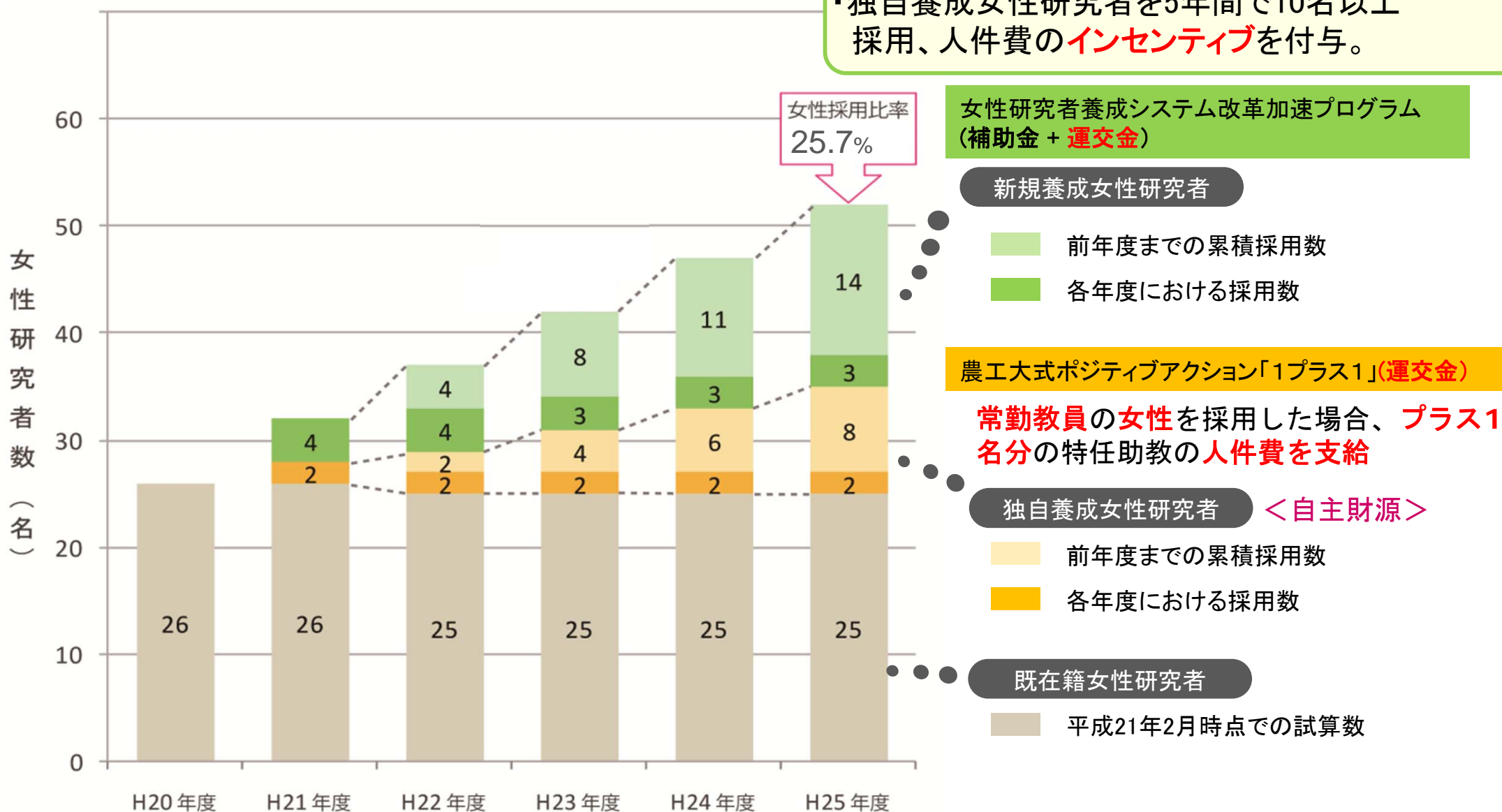
※H26年度補助金の10名はH26に公募、H27着任予定。人件費の3分の1を大学運営費で負担。

特徴

- テニュアトラック全教員分の5年後のテニュアポストを用意
着任6ヶ月以内にテニュア付与評価基準を設定し、**厳格かつ透明性の高いテニュア付与審査**
⇒ **優れた業績を挙げた者には確実にテニュア付与**
- 国際公募による**高い募集倍率(40倍前後)**により、優秀な研究者の採用を実現
- **優れた研究実績**
科研費新規採択率がH24: 64%, H25: 58%, H26: 56%
着任5年間での**年平均論文数3.0報以上**

女性研究者の採用促進

- ・新規養成女性研究者を5年間で17名採用、3年間の**養成**期間を経て、各部局に配置。
- ・独自養成女性研究者を5年間で10名以上採用、人件費の**インセンティブ**を付与。



東京農工大学における女性研究者と女子学生の躍進

- 教職員631名
- 学生総数5,746名
- 農学系と工学系からなる
中規模 理系国立大学



府中
キャンパス
(農学系)



小金井
キャンパス
(工学系)

平成20年度
(本事業実施前)

平成25年度末
(加速事業終了時)

女子学生比率

農学系

38.1% → 42.3%

工学系

15.9% → 18.1%

女子学生比率
の上昇

教員女性比率

農学系

4.1% → 12.9%

工学系

6.6% → 12.5%

女性教員比率
の上昇

ロールモデルの提示

女性研究者の養成と定着



東京農工大学は女性研究者の養成に
継続して取り組み、強化・発展する



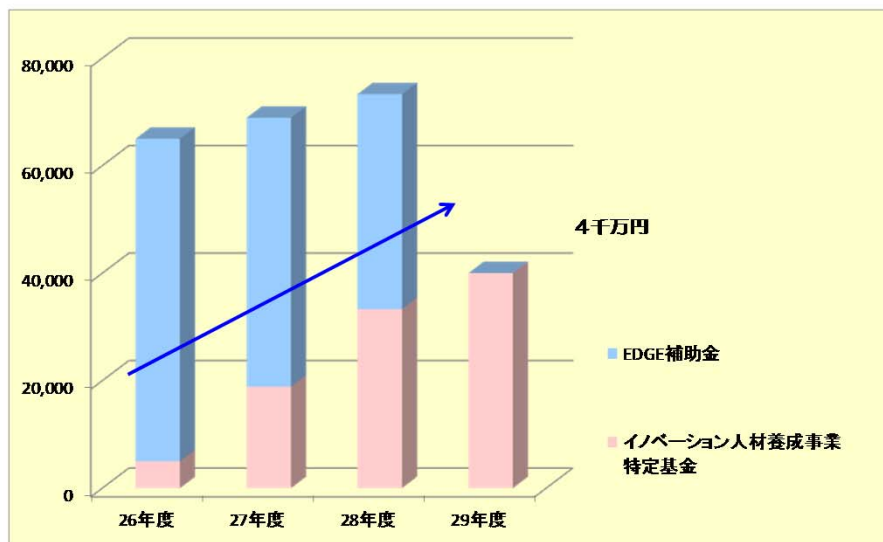
イノベーション人材養成事業特定基金

産業界からの資金による人材育成の定着・発展

イノベーション推進事業実施所要額

単位：千円

年度	26年度	27年度	28年度	29年度
イノベーション人材養成事業特定基金	7,750	18,900	33,300	40,000
EDGE補助金	60,000	50,000	40,000	0
合計	67,750	68,900	73,300	40,000



東京農工大学



EDGE補助金にて実施

起業実践による
イノベーションリーダー
養成プログラム



人材養成エコシステム
の構築



モデルプログラムとして
産業界・他機関に
波及・展開

イノベーション人材養成事業特定基金
によりプログラムの自立継続・発展

イノベーション人材育成活動の全国展開

・全国から公募



・ワークショップ



・マッチング



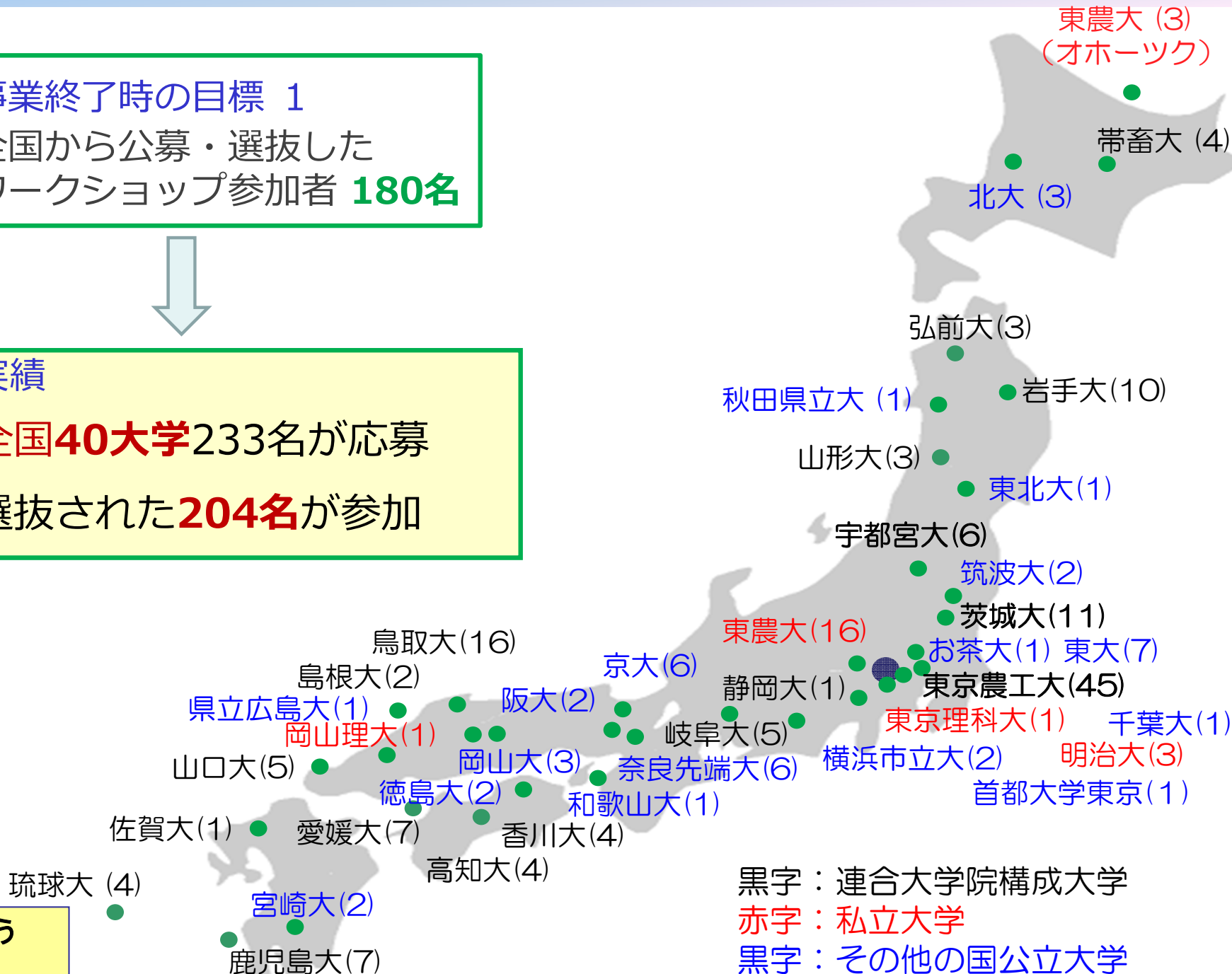
・インターンシップ



事業終了時の目標 1
全国から公募・選抜した
ワークショップ参加者 **180名**

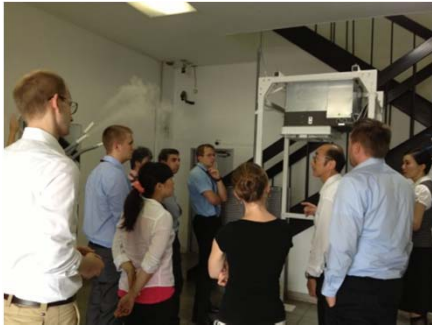
実績
全国**40大学**233名が応募
選抜された**204名**が参加

アグロイノベーションを担う
優秀な人材を養成する



イノベーションリーダーの育成に向けた国際連携活動

ドイツ・シュタインバイス大学と連携協定締結
先方大学が来日し、企業での課題解決型研修を実施



毎年、先方大学から70名が来日、本学学生とともに
日本の中小企業の抱える経営課題を題材とした
課題解決型ワークショップを実施

本学学生がシュタインバイス大学の
MBE (Master of Business Engineering) コースを
受講できる共同教育プログラムの構築に向け準備中。

米国・SRI Internationalと包括連携協定締結
イノベーション研修を継続的に実施中



これまでに
本学学生、教職員、
合計350名が
スタンフォードにて
イノベーション合同研修を受講
毎年、学生・教職員を派遣し、
イノベーション研修を実施

国連 食糧農業機関 (FAO) との連携



FAO in Rome

2013年に日本の大学で初めて
国連機関であるFAOとの
包括連携協定を締結

FAOとはこれまで
学生の長期インターンシップ受入、
ワークショップの講師派遣等の協力を構築
リーディング大学院プログラムはじめとする
各種の人材育成プログラムにおいて協力